

「田原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」における農業の位置づけは

次期総合戦略に位置づけ、しっかり取り組んでいく



岡本 重明
みんなの党田原市議団

暮らしやすいまちづくりについて

- 問** 「地域特性を活かした暮らしやすいまち」を実現するに当たっての課題の中で最大のものは。
- 答** 課題は、相互に関連しており、「田原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」により総合的・計画的に人口増加策に取り組んでいる。
- 問** 地域の特性を活かした暮らしやすいまちをつくるためには、農業の発展が必要であり「田原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」における農業の位置づけを強化していく必要があると考えるが、市の見解は。
- 答** 農業産出額日本一を誇る農業関連の施策も次期総合戦略に位置づけ、しっかり取り組んでいく。

- 問** 今後厳しい財政状況が予測されるが、財源確保に対する市の方針は。
- 答** 税収の確保が最も重要と認識し、農業をはじめとする地元基幹産業の振興や企業誘致施策に取り組む。また、国・県補助金の獲得、市債・基金の有効活用を行うとともに事業の内容や実施時期を見直し優先的に取り組むべき事業の財源を確保する。歳入増加、歳出抑制の両面に対応していく。
- 問** 現状の伊良湖岬から三河田原駅及び豊橋駅までの幹線乗合交通の運賃・ルート・便数について市の見解は。
- 答** 長距離乗合運賃について高額になっていることは認識している。バスの伊良湖支線は便数が少ないため今後検討していく必要があると考えているが、バスの伊良湖本線と鉄道の渥美線は必要なサービスレベルに達している。

交通安全対策について

- 問** 高齢者の運転免許証の保有状況は。
- 答** 65歳以上で1万1972人、70歳以上で7万708人、75歳以上で4269人となっている。
- 問** 高齢運転者運転免許証自主返納支援制度の効果は。
- 答** 自主返納者数は、平成28年が95人、平成29年が210人、平成30年が184人と増加しており、一定の効果を上げている。
- 問** 高齢者の移動手段の確保についてどう考えているのか。交通施策、福祉施策、コミュニティ施策など、総合的に移動手段の確保を充実していくことが大切である。



古川 美栄
自由民主党田原市議団

高齢者の移動手段の確保は

総合的に移動手段を充実していく